



米国カリフォルニア州における 公共水道システムの統合について (その3)

2. 水道の連携及び統合 (Drinking Water Partnerships and Consolidation)

(出典)

https://www.waterboards.ca.gov/drinking_water/certlic/drinkingwater/waterpartnership.html

概観 (Overview)

カリフォルニア州には7,500を超える公共水道システムがあり、そのうち約92%が1,000未満の給水接続件数である。小規模な公共水道システムは、干ばつや火災などの自然災害に対する耐性が弱く、規制の変更への対応が困難であり、規模の経済が不十分でスタッフが不足しているため、インフラの保守と交換に資金を提供するのに苦労している場合がある。その結果、州水資源管理委員会 (State Water Board) は、可能な場合はいつでも水道の連携を支援している。水道の連携は、地元資源の共有 (local resource sharing)、物理的統合 (physical consolidation)、経営統合 (managerial consolidation)、完全な地域統合 (full regionalization) など、様々な形をとることができる。

地元資源の共有とは何か? (What is Local Resource Sharing?)

地元資源の共有は水道システム間の正式及び非公式の合意であり、コストを削減したり、他の方法では提供できない専門知識を提供したりできる。例えば、近くの5つの小さな水道システムには、全て料金請求サービス、運転操作サービス及び特殊な機器が必要な場合がある。5つの水道システムのそれぞれがこれらの職務のそれぞれにパートタイムのスタッフを雇用するのではなく、5つの水道システムが連携してこれらのサービスを共同で契約することにより、地元の独自性を維持する一方で、5つの水道システムはこれらのサービスを共同で契約するために連携して機能することができ、それにより割引料金及び/又はより専門的で効果的なスタッフを確保できる。地元資源の共有に関するこれら全ての戦略は、水道システムがお金を節約するのに役立ち、必要な改善、貯蓄又は借金の返済に資源を費やすことができる。

水道システムの統合とは何か? (What is Water System Consolidation?)

統合とは、2つ以上の水道システムを結合することである。これには、いつもではないが通常、小さいシステムが大きい水道システムに吸収される。これを行う1つの方法は、物理的統合によるものである。例えば、独自の水道システムを有する小さなトレーラーハウスの駐車場が市の近くにあり、その駐車場はもはや飲料水を提供する責任があることを望まないと判断したとする。当該市は、配管

を通じてトレーラーハウスの駐車場に水を提供し始めることができる。トレーラーハウスの駐車場は、その水道システムを解散することができ、水を提供する責任がなくなる。この場合、当該市を「受入れ (receiving)」水道システムと呼び、トレーラーハウスの駐車場を「編入 (subsumed)」水道システムと呼ぶ。

経営統合 (managerial consolidation) も存在する。経営統合は、小規模な水道システムが全ての経営面について大規模な水道システムの一部になるが、元の水道及び配水システムを引き続き使用する場合である。例えば、小さな集落にかつてボランティアのスタッフがいた可能性がある。ボランティアスタッフは高齢化している可能性があり、もはや水道システムの責任を負うことを望んでいない。この水道システムは、大規模な水道システムから離れすぎているため、物理的に統合するのに費用対効果が低い。大規模な水道システムは、法令に基づく報告、料金請求、運転管理などの水道システム機能を合法的に引き継ぐことができるが、既存のインフラを使用する。小規模な水道システムは解散し、水道サービスの法的責任はなくなる。

地域統合とは何か？ (What is Regionalization?)

地域統合とは、いくつかの地方の公共水道システムが連携して複合公共水道システムを形成するプロセスである。また、複数の公共水道システムが1つの大きな水道システムに編入される状況を説明するためにも使用できる。地域統合とはより大きな規模での統合であり、顧客にとってははるかに大きな規模でメリットがある。

統合又は地域統合の便益は何か？

(What are the Benefits of Consolidation or Regionalization?)

統合された水道システムは、料金請求や運転操作要員、新しい水源のコストなどのコストを共有でき、コストをより大きな顧客ベースに分散できるため、どのシステムも単独では購入できないほどの時間を節約できる設備機器をしばしば購入できる。水道の連携よりも、物理的統合や地域統合のメリットの1つは、モニタリングのコストを削減できることである。例えば、2つの小規模水道システムでは、配水システムにおける毎月の細菌学的検査、毎年の消毒副生成物検査、3年ごとの鉛及び銅検査などのためにサンプリングが必要となる場合がある。受入れ水道システムが水道システムを編入した場合、編入後の統合水道システムの人口が一定の閾値を超えなければ、サンプリングを増やさなくてもよい。したがって、編入された水道システムは、モニタリングコストの節約につながる可能性があり、それを消費者に渡すことができる。これにより、機能的にモニタリングコストを半分に削減できる。さらに、多くの場合、水源を共有して水道システムの柔軟性と信頼性を高めることができる。

受入れ水道システムにとっての便益及び保障は何か？

(What are the Benefits and Protections for Receiving Water Systems?)

経済的不利な小規模水道システムの統合を遂行する水道システムは、1千万米ドルまでの無利子融資を利用できる。ゼロ金利整理インセンティブ融資は、受入れ水道システムが望む水道システムインフラプロジェクトに使用できる。このインセンティブの目的は、統合及び地域統合プロジェクトを通じて地域を支援するために、より大きな水道システムを奨励することである。さらに、「統合責任免除 (Consolidation Liability Exemptions)」というタイトルのカリフォルニア健康及び安全規則第116684条は、編入された水道システムの過去の慣行に関連する水道システムの受け入れに対する損害賠償保護を規定している。これらの損害賠償保護は、強制的統合及び自発的統合の両方に適用される。統合インセンティブの詳細については、[Water Partnership Toolbox Web](#) ページを参照のこと。

我々の水の地元管理の喪失については？

(What about our Loss of Local Control of our Water?)

小規模水道システムの所有者の多くは、水道システムを放棄することは生命を維持する資源の管理を放棄することを意味すると感じている。水の管理を放棄することと同じように、下水システム、電話サービス及び電気サービスの地元管理の喪失を心配する人はほとんどいない。同時に、水コストの負担は一般に見落とされている。Pacific Instituteによれば、「水道事業は、電力の2倍以上の資本集約的であり、天然ガスのほぼ3倍の資本集約的である」。しかし、水は通常、最も低コストの公益事業サービスの1つである。これは、小規模システムが将来の、場合によっては現在のインフラのニーズを計画せず、また、資金を確保しないため、低い水道料金の支払いが多いためである。提供されている水の実際のコストは考慮されておらず、持続不可能な水システムになっている。インフラの更新が必要な場合、小規模水道システムにはコストを分散するための顧客ベースがなく、スタッフ、資金準備、及び/又は多額のインフラ融資を取得するための信用履歴もない。したがって、水道システムを統合又は地域統合することは、全ての人々の相互利益のために組織化された方法で人々が地域と協力する機会になる可能性がある。

一部のシステムではこの懸念が非常に大きいため、統合又は地域統合に向けてすぐに取り組むのではなく、地元資源の共有と関係の構築から始めることが、より許容できるアプローチになる。地元のコストシェアリングによって実現された節約は、準備資金又は必要なインフラの改善に充てることができる。

公共水道システムであることの真のコストは何か？

(What are the True Costs of Being a Public Water System?)

公共水道システムの申請者は、井戸、配水システム及び時折のモニタリングコストが、公共水道システムであるために必要な全てであると期待することが多い。持続可能な公共水道システムとなるための作業量と財政的責任を軽視すべきではない。「公共水道システムとは」というタイトルのドキュメントでは、公共水道システムを開始・運用する前に考慮する必要のある要件及びコストの多くについて説明している。

強制的な統合とは何か？ (What is Mandatory Consolidation?)

州水委員会は、地元資源の自発的な共有、統合、地域統合を強く支持している。公共水道システムの持続可能性への地元の積極的なアプローチは、最良の結果をもたらす。ただし、公共水道システムが水質基準を満たしていない場合や、不十分な給水を行っている場合、州水道委員会は、カリフォルニア健康及び安全規則第 116680～116686 条に従って、状況によっては強制的な統合を命じることがある。

統合と組入れ (Consolidation Verses Annexation)

飲料水関係の用語では、統合と組入れには異なる意味がある。統合とは、2つの公共水道システムを結合することである。組入れは法的手続きであり、自治体にまだ組み込まれていない近隣地域を含むように境界が拡大される。あるエリアが組入れられた場合、上下水道サービス、24時間体制の警察、消防などの自治体のサービスを受けることができる。水道システムのガバナンスのタイプに応じて、統合のために正式な組入れプロセスが必要な場合と必要でない場合がある。組入れプロセス又は政府再編成プロセスは、通常、各郡の地方地域形成委員会 (LAFCO) の管轄下にある。LAFCO は、郡、市及びほとんどの特別地区 (special district) の境界を管轄している。

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S飯田橋ビル7F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-rl.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。